

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

令和7年1月24日

協議会名:南城市地域公共交通会議

評価対象事業名:地域公共交通調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通網形成計画等の 計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上位計画の整理 ・移動ニーズの把握・整理 (市民アンケート、学生のニーズ調査、人流データ等) ・交通に関する先進事例の収集及び視察 ・公共交通とまちづくりに向けた取組検討 ・協議会の運営 <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートを紙媒体とWEBの併用で実施し、市民の目的別の移動状況や、公共交通の利用状況、評価や要望、将来の移動に対する不安等を把握した。 ・市内居住の小中高生を対象に、WEBでアンケートを実施し、登下校の手段、送迎の状況、登下校以外での移動状況等について把握した。 ・両調査とも過年度も実施しており、属性や地域別、高校ごとの分析に加え、経年変化の分析を行った。 ・先進事例として、岐阜市の市民協働型コミュニティバス、岐阜駅の交通結節点、バスまちば事業、自動運転等、松本市のエリア一括協定運行事業、キャッシュレス決済導入、ラストワンマイル地域支援事業等、について視察を行い、今後の地域交通の運用や改善にあたっての参考とした。 ・アンケート調査、視察等も踏まえ、次年度予定している本市の公共交通とまちづくりに向けた取組(講演会、ワークショップ等)の検討を行う。 ・なお、人流データは別途入手予定のデータが入手できなくなったため、今年度は整理しないこととした。(次年度での整理を検討中) 	A	<p>本市の公共交通について検討を行うための基礎資料として、市民や学生の移動ニーズを把握し、また、先進事例を調査を通じて情報発信のあり方や、市民や事業者等との役割分担の考え方、交通と他分野との共創など、計画策定の方針や、計画目標、施策検討における新たな視点について把握することができ、事業の目的を達成できた。</p> <p>公共交通の利用状況や、市民アンケート等で把握した移動ニーズと、現状の幹線バス(市外への路線バス)、Nバス(市内バス)、おでかけなんじい(デマンド交通)の運行状況とに齟齬がないかを確認するとともに、運転手不足(路線バスの減便、おでかけなんじいの運行時間帯見直し等)が続いている現状の中、新たなニーズへ(観光二次・三次交通、夜間の交通空白等)の対応のため、新たな移動手段の導入も見据え、Nバスを中心とした交通体系への見直しを検討する。</p>